



救助・復旧・復興

「救助者探査装置の改良」

基礎となる技術・製品

レスキューレーダーLS-RR02

- ・軽量・コンパクトな設計で本体とPCを片手で携行可能
- ・厚さ300mm以上のコンクリート壁の反対側の要救助者を検知
- ・探査範囲を指定して自動スキャン
- ・生存者までの距離をディスプレイ上に正確に表示

SPEC

型式 LS-RR02M
本体寸法(幅)430 × (奥行)244 × (高)341mm
本体質量 約6.6kg(電池含まず)
電源 DC9-16V
連続使用時間 約5時間(使用電池で異なる)
探査距離 0~30m(空中)
構成 本体、接続ケーブル(5m)、パソコン
PC接続方法 2方式標準装備
1. 有線(USBケーブル)
2. 無線(無線LAN)



これまでの実績

東日本大震災、四川大震災、
ニュージーランド(クライスト
チャーチ)地震などにおいて、人
命救助活動に使用されました。



改良・実用化に向けた取り組み

電磁波を利用して、土石や崩落した建物内に閉じ込められた人体の動き・呼吸を検知し、オブジェクトまでの距離をディスプレイ上に表示する救助用機器の実用化により、災害発生時の人命救助活動に貢献します。

改良前

- ・無線通信距離:10m
- ・質量:6.6kg

改良後

- ・無線通信距離:20m以上
- ・質量:6.3kg

災害時により確実に
閉じ込められた
人体の動き・呼吸を検知



LEADING SAFETY
世界一安全・安心な都市

東京

